

第96回 経営協議会 議事要録

日 時 令和7年10月8日（水）16時05分～17時15分

場 所 本部棟第二会議室・オンライン

委 員 日比野克彦 学長【議長】、
大塚直哉 理事（教育担当）、岩田広己 理事（研究担当）、
君塚 剛 理事（総務・財務・施設担当）・事務局長、
武藤弘和 理事（経営改革・財務担当）、
林 千晶 委員、二宮雅也 委員、御立尚資 委員、矢内 廣 委員、
吉本光宏 委員

陪 席 国谷裕子 理事、麻生和子 理事、前川祐賀子 監事、茂木哲也 監事、
光井 渉 副学長（教育担当）、福中冬子 副学長（研究担当）、
今村有策 副学長（国際連携担当）、
海老 洋 副学長（伝統継承・150周年担当）、
藤原道山 副学長（伝統継承・150周年担当）、
橋本和幸 美術学部長、杉本和寛 音楽学部長、
毛利嘉孝 国際芸術創造研究科長、松下 計 附属図書館長、
黒川廣子 大学美術館長、伊藤達矢 社会連携センター長、
亀川 徹 演奏芸術センター長

欠 席 高橋陽子 委員、湯浅真奈美 委員、
熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科教授、
箭内道彦 学長特命（大学改革・ブランディング戦略担当）【陪】、
桐山孝司 大学院映像研究科長【陪】

○ 議事に先立ち、議長から異動のあった委員の紹介があった。

議題

（1）令和7年度国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況について
議長から標記のことについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

（1）令和8年度概算要求の概要について
標記のことについて、君塚理事から資料に基づき報告があった。

（2）令和6事業年度財務諸表の承認について
標記のことについて、君塚理事から資料に基づき報告があった。

（3）その他（本学の活動近況等）
議長から、国立大学の現状と本学の活動近況について報告があった。
また、毛利国際芸術創造研究科長より、前研究科長の熊倉純子教授の退任記念事

業「キタ！千住の1010人」（10月12日開催）の案内があった。

（主な意見等）

- 観察（指揮科の授業や古典模写など）を通じ、時間と労力をかけた藝大ならではの教育の価値を再認識した。
- 就職率等の数字だけでは測れない、好きなことに没頭できる「時間と場所」を提供していること自体が日本のために重要である。
- 日本の文化に憧れる海外（特に米国）の富裕層やフィランソロピーにアプローチし、資金を獲得する戦略も有効ではないか。
- 英語での授業実施やグローバルな発信を強化することで、留学生の獲得につなげるべきではないか。
- 現在のSDGs（17の目標）には「芸術・文化」が含まれていない。「ポストSDGs」の議論において、人間が人間であるための力として芸術の価値を位置づけるべきである。
- 日本の建築家が世界的に評価されている背景には、大学での教育の系譜（東大、藝大など）があること、それを藝大自身がもっとアピールすべきである。